年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 3 月 30 日
● 事　業　名　：被災者支援からインクルーシブコミュニティネットワーク構築事業
● 資金分配団体　：一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社
● 実 行 団 体　：一般社団法人タウンスペース WAKWAK
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1.制度のはざまに陥りやすい子どもをはじめとした要援護者の居場所（コミュニティスペース）ができる	①居場所として物理的な場所が創出される ②居場所を利用した子ども及び家族の数	①民間の居場所として物理的な場所が創出される。（1 か所） ②市営住宅における要支援世帯のリストアップのうち少なくとも 30%以上の世帯についてアクセスできる状態とする。	①2021 年 4 月 ②2023 年 2 月	古民家を改装してコミュニティスペースが整備され、その場を拠点に学習支援事業や多様なボランティアの育成が行われている。	2
2. 市営住宅において生活困窮家庭、ひとり親家庭、高齢者世帯等の社会	①何らかのサポートにアクセスした生活困窮家庭、ひとり親家庭、高	市営住宅における要支援世帯のリストアップのうち少なくとも 60%以上の世帯について	2023 年 2 月	コミュニティスペースはできたが、新型コロナ禍において対面で集まる新規企画等は難しく感染の終息を待っ	3

的孤立に陥りやすい世帯が参加できる居場所ができる。	齢者世帯等の社会的孤立に陥りやすい世帯の世帯数 ②専門的な支援につながっている要援護者の世帯数	アクセスできる状態とする。		ている状態である。	
3.地域支援を行っていく人材が増加する。	①常時あるいは定期的な情報のやり取りがあるインフォーマル団体の数 ②地域において行われる様々な取り組みに対する地域住民・ボランティアの数	①支援地域全体で 10 団体 ②ボランティア 200 人	2023 年 2 月	支援対象児童等見守り強化事業における子育て層の発掘やベテラン保育士の発掘はできたもののコロナ禍で新規イベントが難しく団体やボランティアの募集が行いにくい。	3
4.市営住宅を拠点とした要援護者を包括支援するまちづくり組織ができる。	①要援護者を包括支援するマネジメント組織の数	①支援対象地域で 2 団体	2023 年 2 月	当法人の事務所以外にコミュニティスペースを拠点としたマネジメント組織が機能しはじめている。	2
5.当地区の協働実践の知見をまとめた成果物ができる。	①地域内外への機関紙や報告書の配布数	①機関紙の発行　年 4 回 ②報告書の発行　年ごとに1冊	2021 年・2022 年・2023 年 3 月	毎年度の機関誌の発行および報告書（アニュアルレポート）の作成のほか、書籍の刊行を行った。	1
6.新型コロナウイルスの	新型コロナウイルスの	新型コロナウイルスの感染に	2021 年 9	コミュニティスペースを拠点に対面	2

感染に備えた体制づくりをしコロナ禍においても事業継続できるようになる。	感染に備え、ネット環境の整備、対面活動時の感染予防対策、居場所などの整備を行い、事業継続が可能となった事業数	備え、指標に掲げた整備を行い、事業継続ができるようになった事業数 4 事業	月	およびオンラインのハイブリッド形式での事業や会議の実施などが行えるようになっている。	

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
1.コミュニティスペースの整備と具体的運用 2020 年度から 2021 年度にかけ、多様な人が「つながる・つつみこむ・出会う」空間を高槻富田地区に創ることをコンセプトに当助成およびクラウドファンディングの実施により古民家を改装し、必要備品を購入するなどコミュニティスペースの整備を行った。 **①クラウドファンディングの結果**：142 人の支援者、2,700,551 円〈達成率 540%〉 **②コミュニティスペースの名称**：第四中学校の総合的な学習の時間「いまとみらい科」の取り組みとの協働により 7 年生が名称案を検討。 9 つの名前から「コミュニティスペース NikoNiko」に決定した。 **③外壁の看板デザイン**：富田小学校の同取り組みとしてデザイナーを講師に迎え 5 年生が一人一人の手形をもとに作成した。

④具体的運用

コミュニティスペースについては 2021 年 5 月より本格的に運用を開始。

ア．学習支援わんぴーす：従来、公的機関である富田ふれあい文化センターを会場に行ってきた学習支援わんぴーすが新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言を受け閉館となり、同会場で実施できなくなった。しかしながら、自前の居場所ができたことによりコミュニティ・スペースにおいて学習支援を継続することが可能となり支援を必要とする子どもたちの学びの定着へとつながった。

※新型コロナ禍における子どもの居場所づくりの取り組みについて、内閣府『子ども・若者白書』へ掲載されたほか内閣府からの依頼を受け政府広報（内閣府特番）「子どもたちの未来のために - 地域に根ざす支援の現場」として 9 月 18 日に地上波で放映された。

イ．市域広域事業のボランティア育成拠点：新型コロナ禍、全国で虐待等が深刻化する社会情勢の中、高槻市が厚労省事業「支援対象児童等見守り強化事業」を受け募集した「高槻市子ども・みまもりつながり訪問事業」を当法人が受託。市内の未就園児（3 歳から 5 歳）かつ保育所等の社会資源につながっていない 250 世帯へのアウトリーチ（みまもり）事業を実施。その訪問員として高槻市内において子育て支援等に携わる子育て層の保育士等 30 名が参加し訪問員従事者研修の実施、事業実施のためのボランティアの育成拠点として稼働している。

ウ．社会課題と出会う場（視察の受け入れ等）：関西学院大学人間福祉学部「社会起業学科」、大阪教育大学「ダイバーシティと人権教育プログラム」の学生の受け入れ、大阪府立学校人権教育研究会（府立高校の学校教員）、兵庫県新温泉町教育委員会からの受け入れを行い当地区の実践をはじめ様々な社会課題についての理解促進をコミュニティスペースを拠点に図っている。

2．多セクターとの共創の仕組としてインクルーシブコミュニティプロジェクトの立ち上げ

当法人が協働を行ってきた多セクターへ呼びかけ地域関係者、学校関係者、大学関係者（研究者、大学院生・学部生）等によるプロジェクトを発足し多セクターによる社会課題解決のプラットフォームを生み出した。

（富田地区インクルーシブ・コミュニティ・プロジェクトの構成・参画団体）

セクター	参画団体等
座長	大阪大学大学院人間科学研究科　教授　志水　宏吉
学識者	大阪大学大学院人間科学研究科　教授　渥美　公秀

	大阪大学大学院人間科学研究科　教授　髙田　一宏 関西大学文学部　教授　若槻　健 関西大学社会学部　教授　内田　龍史 平安女学院大学短期大学　准教授　新谷　龍太朗 助教　相楽　典子
弁護士	NPO 法人子どもセンターぬっく　代表　森本　志磨子
○地 域	富田まちくらしづくりネットワーク、富寿栄老人会、社会福祉法人つながり、民生委員・児童委員
○大 学	大阪大学、関西大学、平安女学院短期大学 大阪大学人間科学研究科志水宏吉ゼミ、髙田一宏ゼミの大学生及び大学院生
○企 業	阪急阪神ホールディングス株式会社
○学校	高槻市立第四中学校・赤大路小学校・富田小学校 ※学校による総合的な学習の時間「いまとみらい科」の協働
○オブザーバー	認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センターむすびえ・ヒューファイナンスおおさか・社会福祉法人大阪ボランティア協会
○事務局	一般社団法人タウンスペース WAKWAK

（プロジェクト会議）

	日時	場所 形式	参加者数	内容
第 1 回	2021 年 6 月 24 日（木） 18 時半～20 時半	ZOOM	40 名	① 顔合わせ・自己紹介 ② コミュニティ再生プロジェクト全体概要共有 ③ 富田エリア事業・市域エリア事業の方向性
第 2 回	2021 年 10 月 19 日（火）	ZOOM	39 名	① プロジェクト新メンバー紹介

	18 時半～20 時半			② プロジェクト進捗状況（事業中間報告） ③ 意見交流
第 3 回	2022 年 3 月 1 日（金） 18 時半～20 時半	ZOOM	32 名	① プロジェクト新メンバー紹介 ② プロジェクト報告・総括 ③ 事業に対する評価・意見交流 ④ 次年度以降のプロジェクトの方向性

〇成果：プロジェクトの開催にあたっては新型コロナ禍、オンラインに切り替えつつも、PC の利用が難しい層には対面にも対応したことで多世代、多分野から合計 40 名が参加することができた。

3．まちづくり学習会・視察学習会の開催

ア．まちづくり学習会①②の開催

高槻市による施設型小中一貫校構想による校区内での差別事象の生起を想定し部落問題についての系統的な学習を 2 週にわたって行った。

・日時：7 月 9 日（金）18 時半～20 時半・ 7 月 16 日（金）18 時半～20 時半（ZOOM 開催）
・テーマ：第 1 回「部落問題の基礎知識 1－差別はなぜ生じるのか？」
　　第 2 回「部落問題の基礎知識 2－部落差別の告発と現在」
・講師：関西大学社会学部教授　内田 龍史氏
・参加者：のべ 65 名

※高槻市においては市長の 3 期目の施策の 3 大テーマとして富田地区まちづくり基本構想を掲げ、市営住宅の全面建て替え、公的機関の再配置、施設型小中一貫校建設構想がスタートしている。施設型小中一貫校の建設にあたっては部落問題が現在、結婚差別、土地差別などの利害が絡んだ時に発生する状況を踏まえ校区再編にあたって差別事象が生起されることがあらかじめ想定されていた。その際に学校教職員をはじめ関係者がその問題へと対応できるよう本学習会を実施した。

イ．視察学習会の開催

①全国初「公民連携によるまちづくり」大東市北条地区

・日時：12 月 4 日（土）14 時～17 時

・テーマ：全国初「公民連携によるまちづくり」
・内容：①公民連携によるまちづくりガイダンス（講義）
講師：NPO 法人ほうじょう事務局長　中井和真氏
②視察（もりねきエリア、住宅エリア、民間事業エリア〈レストラン・アウトドアショップ〉等）
・参加者：11 名

②「社会福祉法人によるまちづくり」大阪市浅香地区
・日時：12 月 11 日（土）14 時～17 時
・テーマ：「社会福祉法人によるまちづくり」
・内容：①浅香地区の歴史・まちづくりガイダンス（講義）
講師：社会福祉法人あさか会　常務理事　山本周平氏
②視察（社会福祉法人あさか会運営の高齢・障がい・児童施設、コミュニティスペース等）
・参加者：15 名

4. 大学との協働および学術研究
大阪大学との共創知を生み出す取り組み
実践および研究を深めるべく 2019 年に OOS 協定を締結した大阪大学とコミュニティ再生事業等に取り組み、その実践を報告書にまとめるなど共同研究を行った。
※OOS（大阪大学オムニサイト）とは：「共創知」を生み出す場をテーマに産官社学連携により、共生社会を創造していくための新たな仕組

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

多セクターが集まる会議やイベント等においてオンラインに切り替えつつもパソコンが苦手な層に対しては対面で会を実施するなどをし多世代、多分野の方々が参加できる仕組みを構築した。また、アクリル板の設置や消毒や換気の徹底などを常時図った。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☐自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している
☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

①政府広報【子どもたちの未来のために～地域に根ざす支援の現場～】

〇テレビ朝日（地上波）　2021 年 9 月 18 日(土）午前 11 時～放送・ＢＳ朝日　9 月 19 日(日）　午後 1 時～放送

〇テレビ朝日のホームページ https://www.tv-asahi.co.jp/kodomo_mirai/

〇内容：新型コロナ禍における子どもの居場所づくりについて多セクターの包括支援の視点から取材

〇番組 HP より：コロナ禍で孤立が進む今。子どもたちの暮らしと学びを支える草の根活動が全国に広がっていると言います。そこで、つるの剛士がその支援の現場を訪ねます。東京都豊島区『いけいけ子ども食堂』の活動と人々の想いを取材。また、板橋区『地域リビング プラスワン』で行われているのは、『おうちごはん』という取り組み。さらに「学び」に対する活動について探るため、大阪府高槻市富田町の『コミュニティースペース NikoNiko』へ。子どもたちを支える活動を通し、日本の未来を見つめます。

〇依頼元：内閣府

②NHK E テレバリバラ「水平社１００年」

〇「バリバラ」水平社宣言 100 年 (1)「人間は尊敬すべきものだ」

・第 1 回：3 月 3 日(木)午後 8:00　　※再放送　6 日（日）午前 0 時（土曜深夜）

〇「バリバラ」水平社宣言 100 年（2）「人の世に熱あれ 人間に光あれ」

・第 2 回：3 月 10 日（木）午後 8：00　放送予定　　※再放送　１３日（日）午前 0 時（土曜深夜）

〇番組公式ホームページ　https://www.nhk.jp/p/baribara/ts/8Q416M6Q79/episode/te/KNX4361X2K/

〇内容：部落問題を中心にした取材。部落問題をはじめ様々な社会課題（社会的孤立）などをどうまちづくりにより超えていくのかを出演の際に語っている。

〇番組 HP より：「過酷な部落差別があたりまえだった１００年前に誕生した水平社宣言。人間は同情や哀れみの対象ではなく、尊敬すべき存在だと訴えた宣言の理念は、いまも輝きを失っていない。番組では水平社誕生の歴史を通して、宣言の意義を考える。スタジオには被差別部落出身者など当事者が大集合。当事者が声をあげる意義・支えることの大切さ、「自分を好きになること」など、理不尽な壁にぶつかっているすべての人たちに熱と光を届ける！
〇依頼元：NHK

2.広報制作物等

①アニュアルレポートの作成

インクルーシブコミュニティ・プロジェクト・アニュアルレポート『未来にわたり住み続けたいまち』

〇1 部：タウンスペース WAKWAK の紹介
2 部：コミュニティ再生事業の様子（2019 年度～2021 年度の取り組みを合本および追記）
3 部：地域と学校の協働の取り組みの紹介
4 部：理論編（実践報告論文および学識者からの当事業の社会的意義についてのコメント）
〇発行時期：2022 年 3 月 31 日
〇部数：1300 部

②論文投稿：当法人事務局長が委嘱研究員として所属する関西大学人権問題研究室の紀要論文において昨年度のコミュニティ再生事業について投稿した。続編は 2022 年 4 月に刊行予定。
※岡本工介（2021）『多セクターとの共創による包摂型地域コミュニティ生成 - 高槻市富田地区大阪北部地震後のコミュニティ再生の取り組み（１）』関西大学人権問題研究室紀要 82 号（KU-0700-20210831-02.pdf）

③機関紙 WAKWAK 通信による実践の広報

当法人が毎年発行している機関紙「WAKWAK 通信」において当事業の様子を広報（2021 年 5 月、9 月、2022 年 3 月の 3 回）、各 1500 部発行
し関係機関等への実践の広報を行った。

3.報告書等

①書籍『子どもと家庭を包み込む地域づくり』（晃洋書房）

・編著：谷川孝至・岩槻知也（京都女子大学）・著書：幸重忠孝・村井拓哉さん・鈴木友一郎・岡本工介（当法人事務局長）

・内容：当法人の子どもの居場所づくり事業について執筆

・詳細：HP より（すべての子どもと家庭にウェルビーイングをもたらす地域づくり ）

　ボランタリー組織，社会福祉協議会，こども食堂，学校，児童相談所，地方自治体，国……様々な機関が連携して住民が主役となる地域づくりのモデルを紹介し，展望する。

　第一部では，地域づくりの先進的で特徴的な取り組みを展開している地域＝沖縄県（内閣府からの補助金），滋賀県（社会福祉協議会の挑戦），明石市（市長の政策展開），大阪市西成区（ボランタリー組織の活躍）を紹介する。

第二部では，実際に地域づくりに取り組んでいるボランタリー組織の実践家が，組織のミッションや取り組み，外部からはなかなか見ることの難しい地域づくりの内実など，その活動のリアリティを描く。

②内閣府令和 3 年度『子ども・若者白書』掲載

　新型コロナ禍における子どもの居場所づくりの取り組みについて、内閣府令和 3 年度『子ども・若者白書』へ掲載された。

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 担当者に報告の対象となる不正行為があった際には資金分配団体に報告する旨を周知・徹底している。

6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）